

中国編

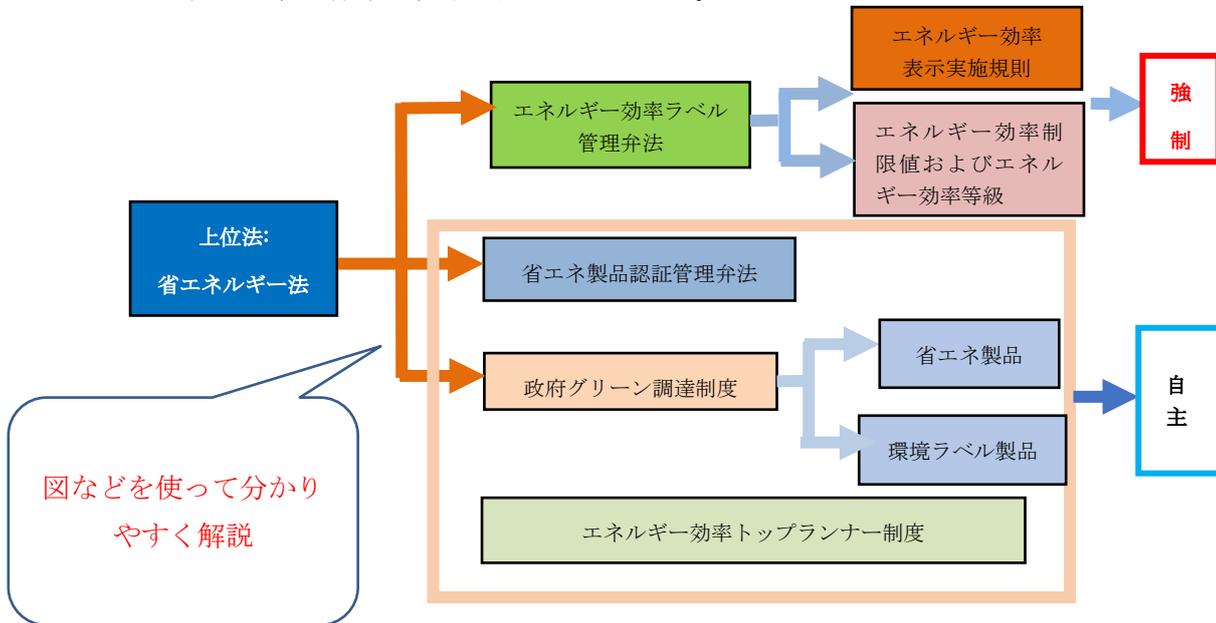
【1】 製品省エネ関連規制 (エネ効率ラベル/省エネ認証ラベル) — 関連規制の強化と省エネ改善の推進 **全 15 ページ** サンプルのためリンクは切っています。

法律/政策の名称	(1)中華人民共和国省エネルギー法 (2)エネルギー効率ラベル管理弁法 (3)中国省エネ製品認証管理弁法 (4)水効率ラベル管理弁法 (5)グリーン製品の標準・認証・表示の統一体系の構築に関する國務院総局の意見 (6)グリーン製品ラベル使用管理弁法
現地語名称	(1) 中华人民共和国节约能源法 (2) 能源效率标识管理办法 (3) 中国节能产品认证管理办法 (4) 水效标识管理办法 (5) 国务院办公厅关于建立统一的绿色产品标准、认证、标识体系的意见 (6) 绿色产品标识使用管理办法
公布/施行日等	(1)1997 年 11 月 1 日公布、最新改正日：2018 年 10 月 26 日 (2)2016 年 2 月 29 日公布、2016 年 6 月 1 日施行 (3)1999 年 2 月 11 日公布・施行 (4)2017 年 9 月 13 日公布、2018 年 3 月 1 日施行 (5)2016 年 12 月 7 日公布 (6) 2019 年 5 月 7 日公布、2019 年 6 月 1 日施行
カバー期間	2023 年 6 月～2023 年 11 月

このテーマの基礎知識
を簡潔に説明

バックグラウンド情報

■上記の法規の体系は以下の図の通りである。



注: 「エネルギー効率表示実施規則」および「エネルギー効率制限値およびエネルギー効率等級」は対象製品ごとあるので、1本の法規ではなく、40本ほどの法規で構成されている。

上位法:省エネルギー法

<p>エネルギー効率標識管理</p>	<p>国家は強制力があるエネルギー消費製品・設備のエネルギー効率標準と、生産過程 ... 保存しなければならない</p>
<p>省エネ製品認定</p>	<p>エネルギー使用製品の ... 使用することができる。</p>

サンプルのため割愛

下記の法律に関し説明する。サンプルのため、タイトルのみ表示する。

エネルギー効率ラベル管理弁法

省エネ製品認証管理

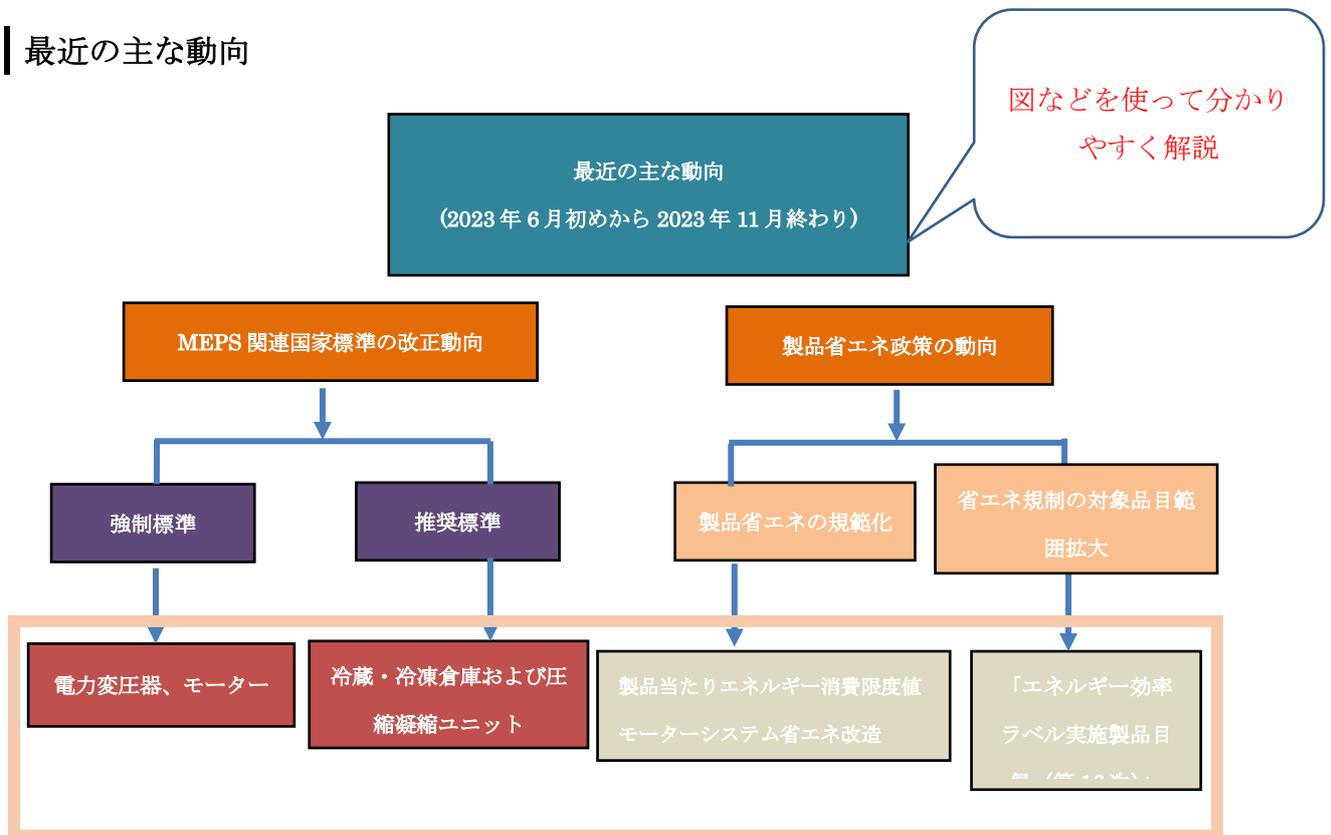
政府グリーン調達制度

グリーン製品ラベル使用管理弁法

「エネルギー効率トップランナー制度実施方案」

エネルギー効率トップランナー制度

最近の主な動向



上記の各要素について説明する。

MEPS 関連国家標準の改正動向

■ 電力変圧器の MEPS を定めた強制国家標準の改正草案

中国標準化研究院は 2023 年 10 月 17 日、強制国家標準の「電力変圧器エネルギー消費効率限度値およびエネルギー効率等級」(GB 20052) の改正草案を公表し、意見募集を開

始した。意見募集は 2023 年 12 月 16 日までである。同標準では、電力変圧器の最低エネルギー消費効率基準値 (MEPS) や、エネルギー効率等級および試験方法が規定されており、6kV から 66kV までの電力変圧器に適用される。今回の改正では、新エネルギー発電側 (ソーラー発電用、風力発電用、エネルギー貯蔵用) 変圧器の MEPS 要件が新規追加され、適用範囲がさらに拡大された。

適用範囲

同標準は以下の電力変圧器に適用される。

- (1) 三相 10kV 電圧等級、無励磁電圧調整、定格周波数 50Hz、定格容量 30kVA~2500kVA 配電用油入変圧器および配電用乾式変圧器。
- (2) 35~500kV 電圧等級、定格周波数 50Hz、定格容量 3150kVA 配電用油入変圧器。
- (3) 三相 6~35kV 電圧等級、無励磁電圧調整、定格周波数 50Hz、定格容量 500kVA 以上の新エネルギー発電側 (ソーラー発電用、風力発電用、エネルギー貯蔵用) 配電用油入変圧器および配電用乾式変圧器。
- (4) 三相 66kV 電圧等級、無励磁電圧調整、定格周波数 50Hz、定格容量 3150kVA~20000kVA 新エネルギー発電側 (ソーラー発電用、風力発電用、エネルギー貯蔵用) 配電用油入変圧器。

同標準は、インフレータブル変圧器、タワー変圧器および機関室用変圧器には適用されない。

エネルギー等級

電力変圧器のエネルギー効率は 3 つの等級に分類されている。そのうち等級 1 が最もエネルギー効率が高く、損失が最も低い。各等級の電力変圧器の定格容量における無負荷損失および負荷損失の測定値は、同標準で定められている値を超えてはならない。

主な改正点

今回の改正では、標準の適用範囲に新エネルギー発電側変圧器が追加されるとともに、一部変圧器の短絡インピーダンスが改められている。

- (1) 6kV、10kV、35kV および 66kV 新エネルギー発電側 (ソーラー発電用、風力発電用、エネルギー貯蔵用) 変圧器の MEPS 要求が追加された。
- (2) 6kV、10kV および 35kV 油入式および乾式三相二重巻無励磁電圧調整新エネルギー発電側 (ソーラー発電用、風力発電用、エネルギー貯蔵用) のエネルギー等級が追加された。
- (3) 66kV 油入式三相二重巻無励磁電圧調整新エネルギー発電側 (ソーラー発電用、風力発電用、エネルギー貯蔵用) のエネルギー等級が追加された。

以下はサンプルのためタイトルのみ表示する。

MEPS 関連国家標準の改正動向

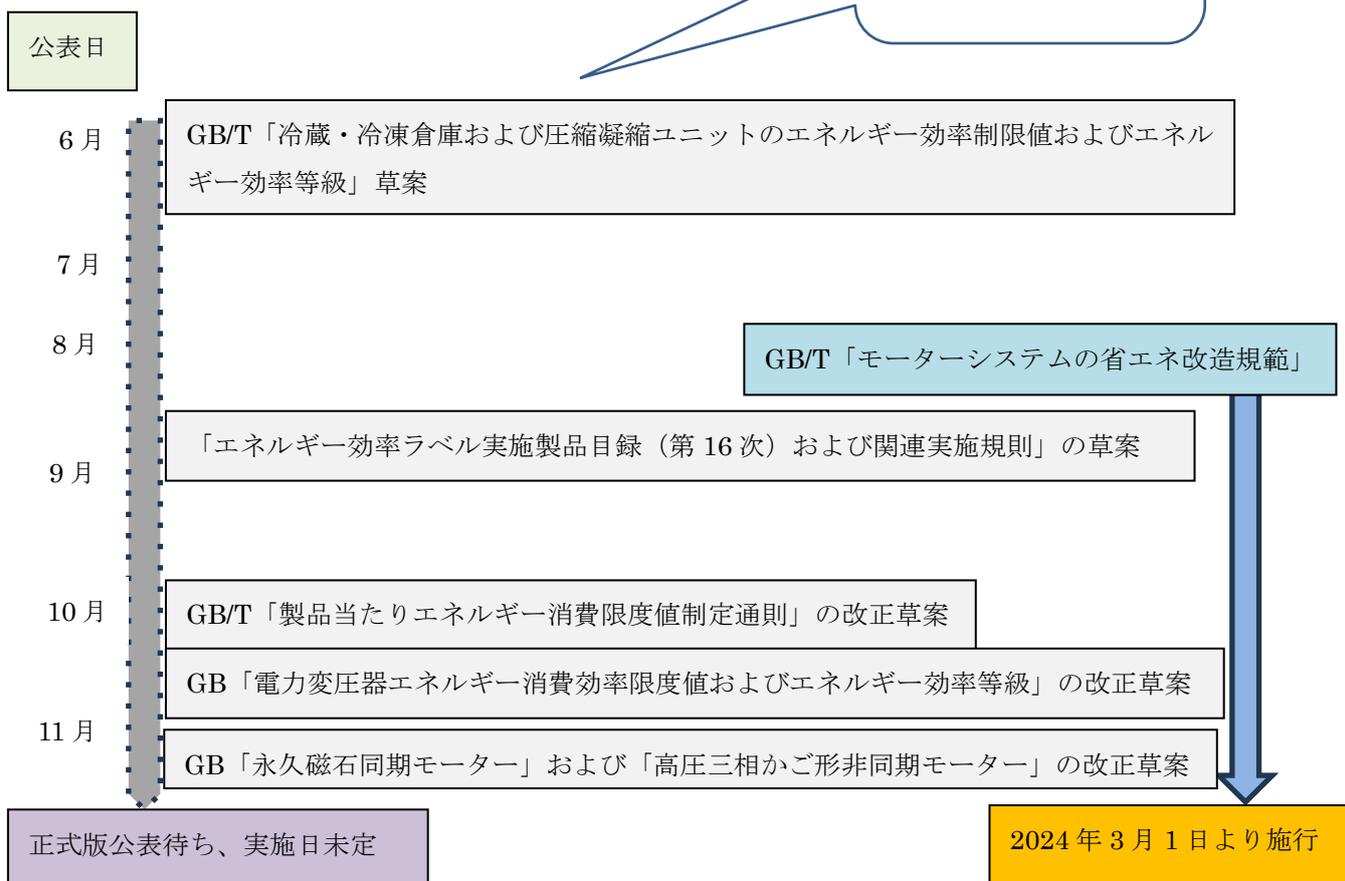
MEPS 関連国家標準の改正動向

製品省エネ政策の動向

製品省エネ政策の動向

■ 国家標準の「モーターシステム省エネ改造規範」の改正版

今後の展開とスケジュール



EnviX 展望と見解

■エネルギーラベル実施製品リストの追加発表により、対象製品は業務用機器に拡大していく

現時点で、エネルギーラベル実施製品目録については、第 15 次まで公表されており、計 42 品目が対象製品となっている。1 回目リスト対象製品の家庭用冷蔵庫、エアコンから拡大し、15 回目の対象製品では業務用の永久磁石同期モーターおよびダクト式エアコンまでに拡大している。さらに、中国は 2023 年 8 月 21 日、「エネルギー効率ラベル実施製品目録 (第 16 次) および関連実施規則」の草案を公表した。今回の草案では、溶接機、一般照明用 LED パネルライトおよび業務用 IH コンロが対象製品に追加されている。今後、対象製品はさらに業務用機器が追加される見込みである。

■省エネのレベルはさらに引き上げられ、炭素排出量の計算方法の推奨標準も公表へ

中国標準化研究院は、2023 年 10 月 13 日、国家推奨標準の「製品当たりエネルギー消費限度値制定通則」の改正案を公表した。2013 年版の改正版となる同標準では、製品当たりのエネルギー消費限度値標準の内容、制定の根拠や原則、製品当たりのエネルギー消費限度値の設定原則を厳しく設定している。たとえば、**エネルギー消費限度値等級の設定原則の改正により、エネルギー消費限度値等級の 1 級は、業界における世界先進レベルとする**うえに、【**原則として業界の上位 5% のエネルギー消費効率先進レベルを同等級の基準値とするか、または業界の「トップランナー」のエネルギー消費効率レベルを同等級の基準値とする。**】の要求も追加されている。また、エネルギー消費限度だけではなく、今回の改正では、炭素排出量計算に関する内容や、炭素排出等級の設定原則も追加されている。今後、エネルギーラベル実施対象商品を中国で製造、販売するためには、エネルギー消費と炭素排出量の両方に配慮しないといけないと思われる。

【2023.11.30 CY】